

第34回全国私立大学教育研究集会 開催要項

2023年6月29日

日本私大教連
(日本私立大学教職員組合連合)

第34回全国私立大学教育研究集会(全国私大教研)は、4年ぶりに対面を中心として島根県松江市にて開催します。

全体集会では、**記念講演**として、原水爆禁止世界大会実行委員会・運営委員会共同代表で、日本私大教連副委員長や東京私大教連書記長などを歴任した野口邦和さん(元日本大学准教授)をお招きして、ウクライナ戦争により核使用の脅威が顕在化する一方、G7広島サミットでは核抑止力に依拠したまま核廃絶を究極目標とする「G7首脳広島ビジョン」が宣言される情勢の中、“核兵器廃絶をめぐる今日の状況—核抑止か、核廃絶か—”と題して講演いただきます。

基調報告では、この間の私たちをめぐる情勢と、日本私大教連中央執行委員会が昨年末に発表した「政策提言2023」の内容を軸にして、私立学校法の改正や私大淘汰政策の強化など政府・文科省の大学政策の動向と、私たちの課題と運動の方向性を検討します。

セッションは、各地区私大教連からの要望を踏まえて、私立大学をめぐる制度・理念、現在展開されている・されつつある私大政策、現場が直面している諸課題からテーマ設定しました。2日間にまたがって8つのセッションを配置します。

4年ぶりに全国の仲間と顔を合わせ、おおいに学び交流できる機会になるよう準備を進めています。会場は隣席との距離の確保や常時換気等の感染対策を施しています。ぜひ多くの組合員のみなさんにご参加いただくようお願いいたします。



26日/全体集会会場の“くにびきメッセ”

27・28日/セッション会場の“松江テルサ”

I 開催日程・会場・参加費

1. 名称 第34回全国私立大学教育研究集会（略称：全国私大教研）
2. 開催日 2023年8月26日（土）～28日（月）
3. 会場 26日：“くにびきメッセ”1階・多目的ホール
（松江駅北口から徒歩7分。バスあり）
27・28日：“松江テルサ”1階・テルサホールB・C（松江駅北口すぐ）
4. 主催 日本私大教連（日本私立大学教職員組合連合）
5. 日程

8月26日（土） [くにびきメッセ]	13:30 受付開始・開場 [多目的ホール]
	14:00～17:15 全体集会 ○記念講演“核兵器廃絶をめぐる今日の状況—核抑止か、核廃絶か—” 【講師】野口邦和さん（原水爆禁止世界大会実行委員会・運営委員会共同代表、日本私大教連副委員長などを歴任） ○基調報告 18:00～ 全体交流会 [レストラン・ウィンザーノット]
8月27日（日） [松江テルサ]	10:00～17:15 [テルサホールB・C] 第1～第6セッション（2セッション同時進行）
8月28日（月） [松江テルサ]	10:00～12:00 [テルサホールB・C] 第7・第8セッション（2セッション同時進行）

6. 参加費 現地対面参加：1人6,000円（未加盟組合は分担金「組合員実数×200円」加算）
オンライン参加：1人2,000円（未加盟組合は1人6000円）
◆全体交流会：1人5,000円（立食、フリードリンク、税込）
7. 注意事項 全体集会会場の通信環境の関係で、26日のオンライン参加者はマイク・カメラオフ（チャットは利用可）でご参加ください。27・28日のセッションはハイブリッド形式で開催します。

II 会場へのアクセス

《飛行機》出雲縁結び空港着便

- ・東京（羽田） 【 JAL 】 1日5便（約90分）
- ・名古屋（小牧） 【 FDA 】 1日2便（約60分）

- ・静岡 【 FDA 】 1日1便(約80分)
- ・仙台 【 FDA 】 1日1便(約90分)
- ・大阪(伊丹) 【 JAL 】 1日4便(約60分)
- ・福岡 【 JAL 】 1日2便(約70分)

《飛行機》米子空港着便

- ・東京(羽田) 【 ANA 】 1日6便(約90分)

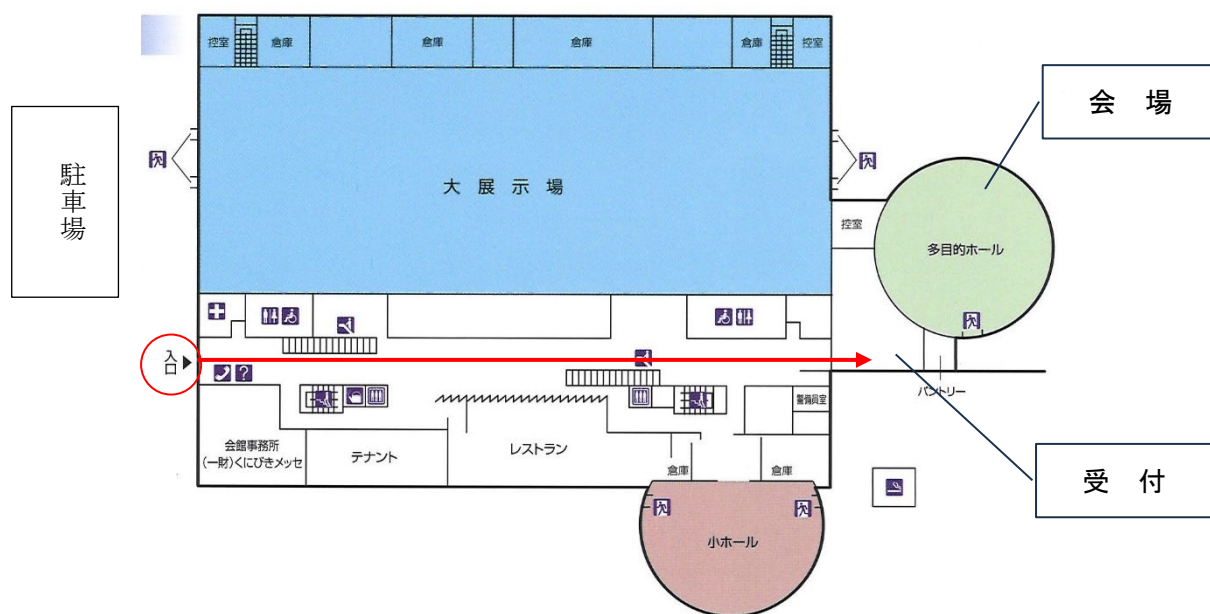
◆空港 ⇄ 松江駅：空港連絡バスで出雲空港から30分、米子空港から45分

◆松江駅 ⇄ くにびきメッセ

- ・北口より徒歩7分程度。
くにびき大橋を渡ってすぐ。
- ・バス
7番乗り場“ぐるっと松江レイクライン”利用で約2分
11番乗り場“一畑バス 御津・生馬が丘線”利用で約3分



《くにびきメッセ1階見取り図》



◆松江駅 ⇄ 松江テルサ 松江駅北口ロータリー西側（駅に背を向けて左方向）

Ⅲ 宿泊について

1. ホテルは参加者各自で早めにご手配ください。
2. 松江駅周辺にビジネスホテル等が数多くあります（北口側が便利です）。

また松江大橋北側の大橋川沿いには天然温泉を引いたビジネスホテル等もあります。

IV 参加申込、参加費等の納入の方法

A 全国私大教研の参加申し込み方法

1. 申し込みは、別紙「参加申込書」「参加組合の概要」の提出をもって受け付けます。
2. 必要事項を漏れなく記入し、下記締切日までにご所属の地区私大教連（各県私教連・私教組加盟組合および直接加盟組合は、日本私大教連書記局）へご提出ください。
※提出文書はできるかぎり Word で作成し、ファイルを E-mail 添付でご提出ください。
※オンライン参加の場合は ZOOM への事前登録が必要になります。参加の際にご使用になる PC・タブレット等に確実に届くメールアドレスを必ずご記入ください。
※各地区私大教連は、単組から届いた参加申込書と参加組合の概要を順次日本私大教連書記局に送付してください。
3. 参加申し込みはできるかぎり 8月21日（月）までをお願いします。

B ZOOMミーティングルームへの事前登録と参加方法

1. オンライン参加は ZOOM を使用します。事前登録制となります。
2. 参加申込書にご記入のメールアドレス宛に、8月23日（水）昼頃に「案内メール」を配信しますので、記載の URL から「事前登録」して下さい。
※「事前登録」は、できるだけ開会前に完了してください。
※「案内メール」が届かない場合は、日本私大教連書記局に電話か E-mail でお問い合わせください（TEL 03-5285-7243、E-mail info@jfpu.org）。
3. 登録が完了すると「確認メール」が届きます。ZOOM ミーティングルームに入室するための URL が記載されていますので、集会参加時にクリックしてご入室ください。
※集会開催期間中は、いつでも入退室が可能です。

C 参加費等の納入方法

1. 各地区私大教連に加盟している組合は、申込書類の提出とあわせて地区私大教連に納入してください（各地区私大教連から別途指示がある場合は、それに従ってください）。
2. 各地区私大教連は上記費用を取りまとめて、下記口座にお振込みください。ただし、参加費、未加盟組合分担金、全体交流会会費は合算せずにそれぞれごとにお振込みいただくか、合算してお振込みの場合は内訳を速やかにメールまたはファックスでお知らせください。
各県組織加盟組合、直接加盟組合は下記口座に振込むか現地でお支払いください。

振込先＝中央労働金庫池袋支店 普通7579496 日本私立大学教職員組合連合

※組合費の納入口座とは別口座ですのお間違えのないようお願いします。

V セッションのテーマと企画概要

<タイムテーブル>

	10:00～12:00	13:00～15:00	15:15～17:15
8月27日 (日)	1. 学教法改正運動と高等教育政策	3. 改正私学法と寄附行為改定	5. 私大政策の変容と職場の取り組み
	2. 職員セッション	4. 権利闘争 150分	6. 会計基準 90分
8月28日 (月)	7. 政策提言 2023		
	8. 組合活性化交流		

第1 学校教育法の再改正を求める運動と高等教育政策

公大連・全大教・日本私大教連は、2023年3月に『大学教職員組合三団体による学校教育法改正の提案—教育と研究の基盤となる大学自治の回復をめざして』を発表しました。本セッションではその内容および3団体で協議している今後の運動方向について、各設置形態で現れている大学自治に悪影響を及ぼしている政策動向も踏まえた報告を行います。討議では、参加者からも各大学で生じている問題や組合としての取り組み等について発言いただき、大学自治の回復をめざす運動を考えます。

第2 職員の職場をめぐる課題と取り組み（職員セッション）

レポート募集

※職員委員会で検討をすすめています。別途ご案内します。

第3 改正私学法と寄附行為改正の取り組み

本年4月26日、私立学校法改正法案が成立し、2025年4月1日に施行されます。改正私学法の内容と、各学校法人での寄附行為改正にあたっての重要点など、今後の対応のポイントについて学習します。あわせて参加者から、改正私学法への対応をめくり各大学で現れている状況や組合の取り組みについて発言いただき、交流したいと考えていますので、発言のご準備をお願いします。

第4 労働条件の切り下げ、権利侵害とどうたたかうか

4つの組合から以下の報告を受けた上で、労働条件の切り下げや権利侵害といかにたたかうか、学び合い交流を深めます。

①目白大：未払い賃金請求訴訟の争点（組合は理事会の主張に対していかに反論を組み立て、どう

主張したか)。

②作新学院大：賃金切り下げに対して、組合が団体交渉や学内でどのような取り組みを展開しているか。

③羽衣国際大：大学教員任期法の適用対象教員であるか否かを具体的事実によって判断し、雇止め無効の判断を下した高裁判決のポイントと意義。

④関西圏非常勤講師組合：大阪大学での非常勤講師雇止めに対する地位確認訴訟のたたかい。

第5 私立政策の変容と職場の取り組み

レポート募集

本セッションでは、①改正大学設置基準をめぐる職場の動き、②定員割れ私大に対する「撤退」圧力を強める政策動向と職場への影響、の2つのテーマで学習と交流を深めます。

①改正大学設置基準をめぐる職場の動き

各私大で動きが出始めています。予期しない事態も生じています。改めて改正設置基準の内容を学び、職場での取り組みについて考えます。

- ・中央執行委員会からの報告
- ・単組からの報告（教育研究実施組織の悪用、基幹教員の導入準備で起きている問題など）

②定員割れ私大に対する「撤退」圧力を強める政策動向をめぐって

この間、定員割れ私大に対する「撤退」圧力は、経常費補助制度や設置認可制度、修学支援制度の見直し（要件の厳格化等）を通じて強化されてきています。さらに文科省・私学事業団による「経営指導」も強められています。これら一連の政策の内容と問題性を共有します。

- ・中央執行委員会からの報告
- ・単組からの報告（政策により現場で生じている問題、経営指導をめぐる問題など）

第6 学校法人会計基準の改正提言

今般の私立学校法改正にともない、学校法人会計基準の改正が行われます。これに向けて現在、東京高等教育研究所で提言案を検討しています。これまで賃金切り下げや整理解雇の口実とされてきた基本金組み入れ制度の廃止など、提言案の報告を受け、学校法人会計基準の問題を学びます。

- ・報告：東京高等教育研究所・大学の財政分析研究部会責任者・田村八十一さん（日大教授）

第7 私立大学政策提言2023を学ぶ

日本私大教連中央執行委員会が昨年末12月に公表した『私立大学政策提言2023』の内容を中央執行委員会から報告し、共有します。

高等教育の漸進的無償化や地方私大への支援、私大助成推進、教職員の地位確立、政府の大学政策など、政策提言が取り上げた内容について、その後の展開も含めながら、議論を深めます。

第8 組合活動を活性化するために

レポート募集

それぞれの大学の現状に立脚した、新たな課題への取り組みや、組合員間のコミュニケーションを

深める工夫などが、組合活動を活性化します。10 組合程度から短い報告をいただき、議論を行います。

(レポート例)

- ・学長選挙に関する取り組み
- ・評価制度導入問題への取り組み
- ・民主的な大学運営を求める取り組み
- ・団体交渉事項を拡大する取り組み
- ・過半数代表制度を活用した取り組み
- ・財政分析の取り組み
- ・情宣の工夫や、組合員拡大を推進する取り組み など

VI セッションのレポート募集・提出等について

1. レポートの募集について

* レポートを募集するセッションは、第 2 (職員セッション) ・第 5 (私大政策の影響) ・第 8 (組合活動活性化) です。全国私大教研集会を充実した内容とするために、積極的なレポート提出をお願いします。単組または個人でレポートを希望される場合は、加盟している地区私大教連 (各県組織、直接加盟組合は日本私大教連) に 7 月中にお申し出ください。

* 上記の希望状況を踏まえて、日本私大教連から各地区私大教連等を通じて単組に個別に依頼することもあります。

2. レポートを提出されるみなさんへのお願い

(1) 予稿集掲載分について

報告概要 (レジュメ) は現地で配付する予稿集に掲載します。以下の要領でご提出ください。

①分量は、A4 サイズで 2 ページ以内とします。

②各ページの余白は上下左右とも **25mm** に設定してください。

③原稿の提出期限は **8 月 2 1 日 (月) まで**とします。Word 形式 (.doc または.docx) で保存したファイルを、日本私大教連書記局へ E-mail 添付でご提出ください (アドレス: info@jfpu.org) 。

④機種依存文字や特殊なフォントは使用しないでください。

(2) 当日の報告で予稿集掲載以外のデータをご利用になる場合

①予稿集に掲載の報告概要とは別に、当日報告用のレジュメやスライドなどを用意される場合は、**8 月 2 1 日 (月) まで**にデータを日本私大教連書記局にご提出ください。提出するデータは **PDF 形式**を推奨します。

②提出いただいたデータは、日本私大教連書記局で印刷し、セッション会場で配付します。

③報告の際には、Zoom の画面共有によりご自身で報告データを操作することが可能です。

※集会事務局による操作をご希望される場合は、データ提出の際にその旨をお知らせください。

④レポートの報告時間はセッションによって異なります。各セッションの運営担当者から事前に持ち時間を連絡しますので、報告時間の厳守にご協力ください。

(3) 予稿集掲載の報告概要（レジュメ）や当日報告用のレジュメ等の事前提出ができない場合

①各自で 50 部印刷し、下記宛に送付するか持参してください。

②データ提出できない冊子等の資料についても同様にご用意ください。

③セッションはハイブリッド形式で開催しますので、報告用のデータを忘れずにご用意ください。開催時間までに日本私大教連書記局にメール添付で送付いただいてもけっこうです（メールアドレス：info@jfpu.org）。

[送付先] 〒690-0826 島根県松江市学園南 1-2-1 くにびきメッセ TEL 0852-24-1111

※必ず 8 月 24 日（木）午前着指定で発送してください。

※梱包の目立つところに「第 34 回全国私大教研」と明記してください。

(松江市の観光スポット一例ご紹介)



堀川遊覧船



玉作湯神社



宍道湖夕景



松江城